

## 2015年度 総会・フォーラムを終えて 会長 高橋 志保彦



創立30周年の記念すべき日本トイレ協会2015年度通常総会は、56名が出席され、記念フォーラムでは約70名の例年を上回る参加者数を得て開催されました。会場は日大理工学部まちづくり工学科天野光一教授のご協力で、日本大学理工学部御茶ノ水校舎（旧カザルスホール）303号室。スクリーン、プロジェクター、黒板、教壇、教卓の揃った200名収容のアカデミックな雰囲気のある大教室をお借りすることができました。

総会では、2014年度の活動報告において、昨年の総会で承認された活動計画が皆様方のご協力ではほぼ全うできたことを報告いたしました。今年度の活動計画では、「創立30周年記念全国トイレシンポジウム（11月）」、「『トイレ学大事典』の発行」、「一般社団法人への推進」、「内閣が推進する『女性が活躍する社会づくりへのトイレのあり方』の構築」、「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて『おもてなしトイレ』の構築」等が承認されました。

総会後の30周年記念フォーラムでは、基調講演を東京都市大学の坂上遼教授にお願いしました。氏は週刊文春で「『トイレ探検隊』がゆく！」を担当されるルポライターであり、各地のトイレを探検してユニークな記事を連載されていて、それにまつわる大変楽しい講演でした。協会の30周年のあゆみのPPTを楽しく見た後、「トイレの30年とこれから」という座談会では、長らく活動してきた3人の副会長と一番若い新理事と、それに坂上遼氏に入ってもらい、テーマについて話し合いました。ご出席をお願いしていたこともあり、ご多忙にも拘わらず駆けつけて下さった鴨下一郎衆議院議員（元環境大臣）が途中から加わり、実のある楽しいトークになりました。鴨下先生は30年前伊東市での第1回のトイレシンポジウムでパネリストとして医学的見地から熱弁を振るわれたいわば戦友です。

30年間長く活動して下さった方々への表彰、バックアップして下さった企業への感謝状の贈呈も行いました。そして、30周年を祝って方々から暖かいメッセージも頂きました。鴨下一郎先生、シンガポールのWTOを主催するジャック・シム氏、横浜国際フォーラムで講演された韓国成均館大学の慎重進教授、台湾トイレ協会TTAの游明国理事長、沈英標前理事長、鄭政利元理事長、林長勲、林拍婷事務局長夫妻、呉明修氏の息女呉旻熹さんから頂き、ロビーに展示披露しました。

総会後の交流会では、酒を酌み交わしながら出席者同士で情報交換をし、交誼を深め、明日への活力の漲る楽しい会でした。宴の後の20時23分東京近辺は激しい地震の揺れを感じ電車が止まり、帰宅が夜中になるなどおまけ付がありました。

最近、政府もマスコミも一般社会にもトイレへの関心が急速に高まってきました。

本年も、会員の皆様、役員の方々と協力し合い、快適な社会環境の構築とトイレ文化の向上、国際的協力と交流を続けてまいりたいと思います。

## 2015年度総会・30周年記念フォーラム経過



会場風景

日本トイレ協会の2015年度通常総会・創立30周年記念フォーラムが5月30日（土）13時から日本大学理工学部御茶ノ水校舎303号教室（東京都千代田区神田駿河台1-6）で開催されました。

協会創立30周年とあって鴨下一郎元環境大臣、日頃友好関係にある台湾（TTA 台湾衛浴文化協会）、韓国、中国、シンガポール（WTO）各国のトイレ協会などからお祝いのメッセージが寄せられました。

### ■通常総会（13時～14時）

出席者56名、委任状57名計113名の出席を得、会則第24条に定める会員総数（133名）の二分の一以上の出席を確認、総会成立が事務局から報告。

倉田理事の司会で議事録署名人に富山県の上田勝郎会員、東京都のTOTOメンテナンスの加藤英明会員が、次いで議長に赤堀理事が選出され、下記議題の審議が行われました。

各議案とも満場一致で承認可決され14時に終了しました。

#### 記

第1号議案 2014年度活動報告

第4号議案 2015年度収支予算（案）

第2号議案 2014年度収支報告及び監査報告

第5号議案 役員の改選

第3号議案 2015年度活動予定（案）

第3号議案の2015年活動予定では創立30周年記念事業として「記念フォーラム」「トイレ学大事典の発刊」「30周年記念トイレシンポジウム」などの多様な活動が展開されますが、その一環として2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて「おもてなしトイレ」、内閣が推進する「女性が活躍する社会づくりへのトイレの在り方」の構築を進めることを決議しました。

第5号議案の役員改選は、今年は役員改選年度にあたりましたが、30周年記念事業などの業務を成功させるため全員再任、追加補充として「金子健二」氏（東京都 NP0check 代表）が選出されました。

### ■創立30周年記念フォーラム（14時30分～17時）

協会創立1985年（昭和60年）以来営々としてトイレ文化の浸透と深度化そしてトイレ環境改善に取り組んで今年で30年の節目にあたります。昨年から山本副会長を中心に記念フォーラムの計画を進めて参りました。記念誌の刊行、記念講演、スライドショー、座談会、功労者に感謝状贈呈そして交流会と盛り沢山のスケジュールで進められました。

### ■記念講演

トイレ探検隊長「坂上 遼氏」（ルポライター／東京都市大学教授）による「なぜトイレ革命に目覚めたか～週刊文春トイレ探検隊の目指すもの」と題して、ご自身のトイレ体験から全国のトイレの最新情報そして日本トイレ協会との連携による日本のトイレ革命を目指す目的など、豊富な画像を駆使して鋭い問題提起を含めた楽しい内容で、私たちは深い感銘を受けました。

## ■スライドショー

「日本トイレ協会の30年間の歩みを振り返る」をテーマに約100枚の写真が次々と画面に映し出され、当時のテレビ報道を交えて協会の歴史＝トイレ改善の歴史を参加者の視覚に訴えました。

## ■座談会

「トイレの30年とこれからの語る」と題した高橋会長が司会の座談会で、鴨下一郎衆議院議員（元環境大臣、協会創立当時の会員／心療内科医）が、ご多忙の中駆けつけられ参加されました。発足当時の思い出そして「世界最先端までに日本のトイレを進化させたのは日本トイレ協会の功績であり、これからも世界のトイレのために一層の活躍を」と語られました。

登壇者は協会を長年支えて来られた坂本、小林、山本各副会長と、基調講演の坂上遼先生そして新任の最年少の金子健二理事。30年間の協会の歴史、苦労話、社会の認知度の変化、これからのトイレの展望など、それぞれが熱い想いを語られ、尽きることのない1時間でした。

## ■感謝状贈呈

協会創設以来の会員及び各研究会推薦の会員に高橋会長から感謝状を贈呈しました。記念品には金沢の人形「トイレの神様」が贈られました。

贈呈者氏名（敬称略・順不同）

法人 TOTO(株)、(株)LIXIL、日本レストルーム工業会

個人 桂真人、小滝一正、関野勉、中野洋一、寅太郎、山戸里志、浅井佐知子、山本耕平、小林純子、川内美彦、坂本菜子、片桐栄一、平田純一

## ■交流会

近くの会場に移動して44名の参加者により賑やかに開催されました。席上会員一同から、当協会創立以来活躍されている高橋会長に感謝状を贈呈し、日頃のご労苦に心から御礼申し上げました。



熱演されるトイレ探検隊長 坂上先生



座談会風景／右から司会の高橋会長、パネリスト山本副会長、小林副会長、鴨下衆議院議員、坂本副会長、金子理事、坂上トイレ探検隊長



山本副会長から高橋会長へ感謝状  
会員一同の心を込めて



交流会にて

創立30周年へのお祝いメッセージ (和訳：高橋志保彦)

祝・日本トイレ協会30周年

「日本の公衆トイレをきれいで使いやすきたい」との同志の一人として加えていただいてからもう30年！皆様の努力で世界に誇れるトイレになりました。心より敬意と感謝を申し上げます。これからも高橋会長を先頭に益々発展していくことを祈念いたします。

平成27年5月吉日  
衆議院議員

鴨下一郎



賀 日本厕所協会 成立三十周年

言人所不敢言  
累點料耘三十載  
做人所不願做  
頻頻造福千萬人

誰も、気にも掛けなかった事を、30年の長きにわたり、全意をささげて没頭し、誰もやろうとしなかった事をやり続け、そしてその結果は、沢山の人々に役立つことをもたらしました。

To talk no one cares to talk, though, it has been cultivated with whole-heart devotion for 30 years.

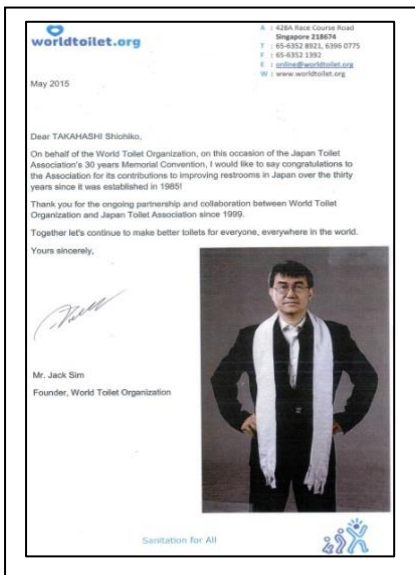
To do nobody dares to do, but it has generated benefits to millions of people.

台湾衛浴文化協会 理事長  
游明国 敬賀  
5-30-2015



<鴨下一郎衆議院議員>

<台湾衛浴文化協会 游明国理事長>



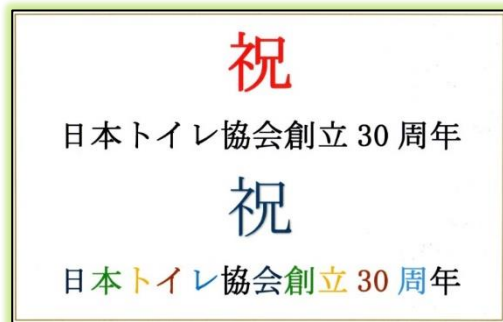
2015年5月

高橋志保彦様

日本トイレ協会の創立30周年記念総会に際し、世界トイレ機構を代表してお祝いを申し上げます。1985年に設立して30年に亘り、日本のトイレ改善に貢献されてきました。1999年以来、WTOとJTAとの間でパートナーシップと協働を続けていることに感謝いたします。世界のすべての人の、あらゆる場所のよりよいトイレづくりを共に続けて行きましょう。

ジャック・シム  
Jack Sim  
WTO founder

<World Toilet Organization ジャック・シム氏/シンガポール>



<韓国 成均館大学 慎重進 教授/第27回全国トイレシンポジウム(横浜国際トイレフォーラム)基調講演者>

Dear 高橋志保 理事長

首先對 貴協會 (JTA) 創立三十週年慶表慶祝之意, JTA 這幾年在高橋理事長的領導下, 令本人感到欣慰的是, 雖然本協會創會會長吳明修教授已在去年辭世, 但 貴會 (JTA) 與本會 (TTA) 之間的友誼, 並未因此有所改變, 貴會與本會之間仍保持著很密切的交流往來, 希望 JTA 與 TTA 之間的這份友誼能永遠保持下去。

本協會 (TTA) 目前正積極籌劃『吳明修建築師回顧展』活動, 本會已舉辦五次籌備會議, 預計於 2015 年冬季分別在台北、台南、台東等地, 舉行 MR.WU 的建築作品回顧展覽。

上個月本人與游明國理事長拜會了 TOTO 公司台灣區總經理戶田勝也先生, 相談甚歡。過程中亦提及本協會希望能透過 TOTO 企業的支持, 使台灣的衛浴文化更上一層樓, 以達到國際水平, 更希望能遍佈至台灣每個都市鄉間的各個角落, 以使城市鄉間的衛浴文化達到一致。此理想就我在日本各地的觀察看來, 貴國已經做到了, 這是一個值得我國借鏡學習的方向。

再次為日本廁所協會成立三十週年慶表誠摯的祝賀之意, 另亦代向「平田前會長」、「坂本副會長」、「小林副會長」、「鎌田副會長」等諸位前輩致上問候之意, 最後祝日本廁所協會 (JTA) 會務昌隆, 萬事如意!



名譽理事長

沈英標

敬賀

社團法人台灣衛浴文化協會

中華民國一〇四年五月十一日

Dear 高橋志保 會長

日本トイレ協会の創立 30 周年を祝います。高橋会長と共にずっと活動されてきたことは喜ばしいことです。台湾トイレ協会 (TTA) の初代理事長の吳明修教授は昨年逝去しましたが貴 JTA と本 TTA の交流を深めました。

これをいつまでも持続していきたいと願っています。

TTA は「吳明修建築師回顧展」2015 年の冬、台北、台南、台東等で開催することにしました。游明國理事長が台湾 TOTO の戸田勝也総経理とお会いし、台湾のトイレ文化向上、国際水準、都市のトイレ問題などに企業の支持を仰ぐことにいたしました。日本各地も視察し、これまでの経緯も知り、学習をしたいと思います。

日本トイレ協会の創立 30 年改めておめでとうございます。平田前会長、坂本副会長、小林副会長、鎌田副会長に敬意を表し、日本トイレ協会の益のご発展を願います。

沈英標

社團法人 台湾衛浴文化協會名譽理事長

中華民國一〇四年五月十一日

### <台湾衛浴文化協會 沈英標 名譽理事長>

日本トイレ協会 JTA 創立 30 周年、おめでとうございます。



Dear Chairman, Prof. Takahashi and all JTA members:

Congratulation to JTA 30<sup>th</sup> Anniversary!

It is good to hear the JTA 30<sup>th</sup> Anniversary. The toilet environment of this world has great improvement owing to your long term efforts. You also inspired the creation of WTO (World Toilet Organization, 2001) and so many countries' toilet associations including TTA (Taiwan Toilet Association, 1999). We appreciate very much for your great contribution and influence to make this world be better. Please keep going well and receive another beginning of 30 years. We are looking forward to seeing our continuous friendship and further collaboration for a better toilet environment world in the future.

Cheng-Li Cheng, Dr., Professor

Honorary Chairman of TTA (Taiwan Toilet Association)

President of Architectural Institute of Taiwan (AIT)

Distinguished Professor of Architecture Department, National Taiwan University of Science and Technology,

日本トイレ協会 JTA 創立 30 周年おめでとうございます

Dear 会長 高橋教授 と JTA 会員の皆様

創立 30 周年おめでとうございます。30 周年と聞いて大変嬉しく存じます。皆様の長い間のご尽力により世界のトイレ環境は驚くほど良くなりました。JTA の皆様は 2001 年の WTO の設立や 1999 年の TTA の設立を含め多くの国のトイレ協会の設立に弾みをつけて下さいました。私たちは世界のトイレを良くする皆様のご尽力と影響力に深く感謝しております。

どうかこれからも頑張ってください。そして今後の 30 年も宜しくお願いいたします。

よりよいトイレ環境をつくるために今後とも変わらぬ友情とますますの協働を期待します。

Cheng-Li Cheng

鄭政利

博士、教授

台湾トイレ協会名譽理事長

### <鄭政利 台湾衛浴協會名譽理事長・台湾建築学会会長>

將捷集團  
FABULOUS GROUP

敬致: 日本トイレ協会

恭賀成立三十週年之喜, 感謝協會長久以來在衛浴文化上

付出與貢獻, 期許能與台灣衛浴文化協會持續交流、共同努力

・創造更美好、舒適的衛浴文化及環境, 傳承後代子孫。

將捷集團

集團董事長 林長勳

執行長 林柏婷

敬賀

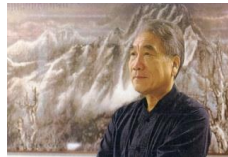
2015/5/7

日本トイレ協会 様

創立 30 周年おめでとうございます。

これまで長年にわたりトイレ文化の向上に貢献されて来られたことに心から感謝いたします。

これからもずっと台湾衛浴文化協会 (台湾トイレ協会) との交流、相互努力、更なる創造、快適トイレ環境を追求し、子子孫孫迄へ伝えて参りましょう。



林長勳

林柏婷

### <將捷集團董事長 林長勳 執行長林柏婷>

Congratulations on JTA's big 30!

Great designs come with a careful and meticulous understanding on the human behavior – such is the impression I perceived through attending JTA' field study in Yokohama back in 2011. I was amazed at the dedicated spirit shown among the members of JTA that afternoon, each were ready with questions and initiated many discussions. The toilet space may be an easily neglected piece in the whole of design, but the conscious and functional perception of it must be the first step leading to a meaningful design work. It is a belief that my late father held throughout his life, and it is the belief that I believe to hold our two associations closer than ever.

Thank you to Takahashi san for inviting me in writing this note in celebration of the association's 30 years. I sincerely hope for nothing but a close and continual connection between our two toilet associations for now and forever.



Sincerely yours,

Michelle M. Wu  
Daughter of Architect Ming-Hsiu Wu

Taipei, Taiwan  
May 15<sup>th</sup>, 2015

日本トイレ協会の  
大いなる 30 周年おめでとうございます！

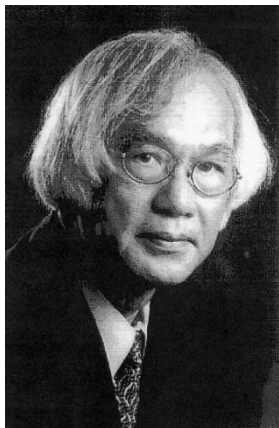
『人間の行為を注意深く、心を砕いて考え抜いた、凄いデザインがなされている』

これが 2011 年の横浜国際トイレフォーラムに参加した時の印象です。午後の検討会では質問への対応が素晴らしく、活発な討議を促す JTA 会員の献身的な姿勢は凄いと思いました。トイレ空間はデザイン全体からすれば容易に見過ごされてしまうような小さな部分ですが、意識的・機能的な考察は、大切なデザインワークを導く最初のステップだと思います。そのことは私の父が生涯持ち続けた信念でした。私たち二つのトイレ協会が末永く親交を続けていくことを確信しております。

日本トイレ協会創立 30 周年に際し、私にも祝賀を述べさせて下さった高橋さんに御礼申し上げます。私たち二つのトイレ協会が、今も、これからも、永久に親しく交流することを心から祈念いたします。

呉 旻 熹  
Michelle Wu  
建築家 呉明修の娘  
台北、台湾  
2015 年 5 月 14 日

< 呉 旻 熹 Michelle Wu 建築家 故呉明修氏の息女 >



< 故 呉明修 台湾衛浴文化協会創会理事長 >



< 1986年(昭和61)第1回トイレシンポジウム風景 >

## トイレ学大事典（想像を超えた世界と真実）まもなく刊行

構想から 3 年、いよいよトイレ学大事典を刊行する運びとなりました。長期間に亘り編集や査読に携わった理事各位の献身的努力と柏書房の熱意により、最後の調整に入っております。

第 I 部 トイレ学事始め 第 II 部 排泄を科学する 第 III 部 文化としてのトイレ 第 IV 部 トイレと国土とまちづくり 第 V 部 人に優しいデザインを求めて 第 VI 部 未来につなぐトイレから構成され、事例・歴史・環境すべてがわかるトイレの総合事典です。

日本トイレ協会編 柏書房発行 B5判上製 480ページ 予価 12,000円（税別）



この度、日本トイレ協会の最年少理事になりましたNPO法人Check 代表理事 金子健二です。現在、35歳でまだまだ人生経験は足りませんが、「旅行業界」「IT業界」「NPO業界」の経験を活かして、日本トイレ協会に新しい風を吹き込み、盛り上げていきたいと思っております。

### ■ なぜ、トイレに興味を持ったのか？

2000年2月、大学生で添乗員のアルバイトをしている時でした。その旅行は交通渋滞が起きるスポットに行くツアーだったため、ある程度渋滞は予想しておりましたが、酔っているお客様に「トイレ休憩はまだか!!」と怒鳴られ、当時は何も対応できませんでした。学生ながら思ったのは、「サービス業はトイレで怒られる」「交通状況で怒る人もいる」と。その頃からでしょうか、私のトイレに対する意識が高くなっていったのは。

### ■ 石垣島の旅行、車いすの家族と一緒にいくとなったら、どんな準備が必要だと思う？

2002年5月。私が旅行会社に就職して1ヶ月、営業で福祉施設の人との初めて会話した時に知った「旅行のハードル(社会課題)」。健常者である私は「酔っ払ったお客様はトイレ休憩ができないと怒る」以外、それまでハードルがあることすら知らずに過ごしていましたが、旅行のセールスを通して、高齢者・障がい者・子育て中のパパママが旅行に行く際、調べなくてはいけない「ポイント」が健常者よりも多いことが分かりました。

そのポイントは大きく分けて、4つ「移動手段」「トイレ」「バリアフリー」「食事対応」2002年の社会インフラは、地域の団体や自治体がバリアフリーマップを冊子やパンフレットで制作している状況。情報を調べるには、1件ずつ電話をかけたり、現地調査などをする必要がありました。そこで、旅行へ行くにはまず何を解決する必要があるか、考えたところ「トイレ」の場所が分かれば、「世の中便利になる」「カーナビで車いすマークのトイレが分かれば、旅行はだいぶ楽になる」と考え、IT業界へ転職し、2007年にボランティア団体を立ち上げました。

2007年6月、「Check A Toilet みんなで作るユニバーサルデザイントイレマップ」世界初の多機能トイレの情報共有サービスをリリースし、2015年6月には約54,000件の情報を共有するまで成長しました。このデータ数の実績を買われ、「Googleマップ」

「NAVITIME」「Mapion」などの大手地図情報サービスやカーナビにデータを提供しております。

[Check A Toilet [www.checkatoilet.com](http://www.checkatoilet.com)]



### ■ これからの社会に合わせたサービスを

2010年から日本トイレ協会のシンポジウムで発表することもあり、トイレに関する様々なビジネスがあること分かってきました。これからは日本のトイレ業界の発展のため、「個人・法人会員にメリットのあるサービス」「日本・世界に向けたマスメディア戦略」などいろいろと提案・実施していきたいと考えております。どうぞ宜しくお願いします。(NPO法人check代表理事)

## 新法人会員紹介

### よりよい環境づくりを通じて社会に奉仕 ～ 仮設トイレを変えよう

日野興業株式会社 代表取締役社長 積田 喜信

今年度から日本トイレ協会法人会員として入会いたしました日野興業株式会社の積田です。どうぞよろしくお願いたします。初めてなので当社の以下に概要を紹介させていただきます。

#### 1 会社概要

日野興業株式会社

本社所在地 〒272-0004 千葉県市川市原木 3024 番地 TEL 047-318-8760

創立 昭和 12 年 2 月 11 日

設立 昭和 27 年 4 月 5 日

資本金 6,650 万円

従業員数 232 名（平成 27 年 4 月）

**2 事業方針** 「我々はより良い環境づくりを通して社会に奉仕します」とい社是の下、最近では「仮設トイレを変えよう」というテーマで建設現場やイベント会場、被災地などの環境改善を目指しております。

**3 事業内容** 昭和 27 年の設立以来、建設業界・住宅業界・イベント業界等に従事しながら、現場の環境整備や安全対策の改善を目指して参りました。

最近の建設業界では官民一体となって、女性の社会進出に伴う業界全体の課題として、今まで以上に女性がいきいきと活躍できる取組みをアクションプランと共に推進しております。

主力となる仮設トイレでは、女性にも配慮した「フラワートイレ」シリーズをラインナップとして掲げており、「けんせつ小町」や「なでしこチーム」と呼ばれる女性技能者の方達が、本来の力を発揮できる「現場づくりのお手伝い」をさせて頂ければ幸いです。

更に特殊な需要先も考慮した、ご好評の NETIS 登録製品「車載トイレ」、現場の水洗化比率向上を担う「粉碎圧送式トイレ」などのラインナップも取り揃え、今後は「農業分野」や「山岳地域環境保全」関係等のテーマにも積極的に取り組んでいきたいと考えております。特に「災害用備蓄製品」等の災害対策関係については、製品の販売促進に留まらず、本業の業務サービスの維持・継続の為に設けた全国各地の営業拠点とサービス網を利用し、スピーディで高品質な供給体制を心がけ、これら拠点を基点した全国ネットのご提案によって、各省庁や自治体関係機関等との密接な連携確保を維持しております。

**4 協会活動** お陰様でこの度法人会員として改めて加入させて頂く事となりました。以前から会長の高橋様をはじめ事務局の皆様には、シンポジウムや講演・講習に限らず、貴重な情報交換の場を頂いて参りました。更に今回、最初のトイレ総合辞典とも言える「トイレ学大辞典」の出版に携わる機会を頂いた事は、仮設トイレメーカーと致しましては誠に光栄であり大変感謝しております。今後も微力ながら、今まで以上に日本トイレ協会の一員として社会貢献を継続していく所存でございますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願申し上げます。







富士山でのPR活動（右）

今年度から法人B会員として入会させて頂きました「㈱エクセルシアの足立寛一です。昨年、日本トイレ協会の高橋会長とご縁を頂き法人B会員として入会させて頂きました。どうぞよろしくお願いいたします。せつかくの機会なので当社の概要や仕事の内容について紙面をお借りしたいと思います。

## 1. 当社の概要

1997年に代表取締役の足立が25歳の時に起業し、災害用トイレ（ほっ！トイレ）、介護用トイレ（よかトイレ）を製造販売しております。製品の長は、排便を除菌・強力脱臭し排便の不快感な悪臭をなくす特殊な薬剤にあります。

当初は、ダイオキシン分解技術の開発を鹿児島県川辺町（現南九州市）と共同開発で行い、環境省、国土交通省の認可を頂き、大林組、飛鳥建設、九州電力の関連会社にライセンスをしました。

起業時の念願であった一般消費者向け商品として2005年に災害用トイレを開発、その後2009年に「ほっ！トイレ」を発売しました。これまで自衛隊やインフラ系企業（東京電力、東京ガス、NTTグループ）銀行、大手企業、大学に多数納品をしました。

## 2. ほっ！トイレの特長

○錠剤（タブレット）の薬剤で排便前に投入、排便後の処置が楽。

→ これまでの粉末形式は排便後に薬剤を振り掛ける作業があるため、便を見たり、悪臭を嗅ぐので不快。

○薬剤の主成分の消石灰などの効果で糞便の悪臭を除去する。

→ 凝固剤のみのこれまでのトイレ処理剤はゼリー状に固まっているだけなので悪臭はそのままです。

○ポンチョと簡便便座で持ち運びながら何処でも排便が出来る。

また「ほっ！トイレ」の備蓄期限は5年間ですが、災害用トイレとして更新時期に廃棄される既備蓄品のトイレを国内では山岳地域、海外では途上国の観光地のトイレなど無償で贈呈するプロジェクトをはじめています。

国内 ～ 富士山での携帯トイレの配布（2014年、2015年も配布予定）

海外 ～ モンゴルでの実証試験（当協会員の日野興業様との共同）

モンゴルでは処理後の糞便を砂漠の緑化保水性基礎材として再利用



### 【当社のトイレの採用事例】

○ 東日本大震災では、東京電力の福島事故現場で使用され、凝固剤だけのトイレは片づけの時に悪臭が大変だったが当社の製品は悪臭がないと評価されました。

○ 2014年の富士山の配布では使用した方の95%が臭気が気にならなかったと山梨県の行ったアンケートに回答しています。また山道

のポイ捨ては1件もありませんでした。

○ 介護用トイレとして国立障害者リハビリテーションセンター研究所と頸椎損傷などで肢体が不自由になった方の寝たまま排便の悪臭を除去する薬剤を共同開発し販売しています。

## 3 主な業務内容（災害用、介護用トイレ処理剤の製造

## 1. 会社概要

私たちは、40年以上にわたる東名高速道路や中央自動車道の保安全管理の経験と技術を基に、高速道路の管理を確実に支えています。NEXCO 中日本グループの一員として、道路保全に必要な高度な技術を持った技術者集団として、各種技術の連携を活かして、道路保全から環境保全まであらゆる問題に対応し、高速道路の重要な使命である安全・安心・快適性の確保に日夜努めています。



## 2. 企業理念

私たちは、NEXCO 中日本グループの一員として、お客さまに安全・安心・快適にご利用いただける道路空間・サービスを提供し、地域社会の発展と国民の暮らしの向上に貢献するために、「安全を何よりも優先し」、「最高水準の技術の提供」、「考えて行動する企業」を目指します。



## 3. 主な業務内容

土木・施設保安全管理業務

- (保全点検・保安全管理・保全工事
- ・施工管理・品質管理・情報管理
- ・植栽管理・施設制御)

コンサルティング・調査・分析業務

- (土木・環境・機械・電気通信・建築)

開発事業 (技術開発・製品開発)

## 4. 日本トイレ協会との関連

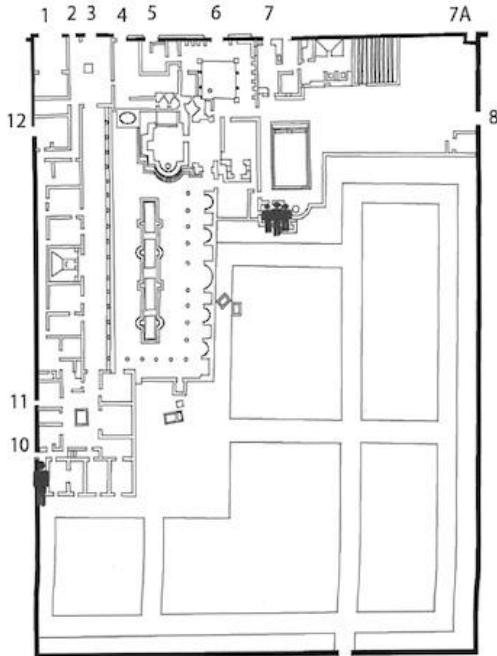
日々の業務を行う上でお客様と直結する“休憩施設”取分けお手洗い及び浄化槽のメンテナンスは当社の重要な業務になっています。又、当社はNEXCO 調査検討業務において、トイレマニュアルの整備、多機能トイレに関する研究・・・等々、中日本高速道路様の案件を行う中で、高橋会長様・小林副会長様と業務に携わりトイレに対する見識を多々御教授頂いております。今後とも日本トイレ協会様との情報交換を行い、安全・安心・快適なトイレの維持管理に貢献して参りますので、ご指導よろしくお願いたします。(施設技術部 中林弘一)



## 古代ローマ・トイレの落とし穴、その2

豊田 浩志

前回は、台所トイレと二階トイレについて触れた。今回は、それに劣らず意外なエピソードを紹介したい。



↑ N ①ユリア・フェリックスの地所平面図

昨年夏は、池口氏の科研の一環で、氏と共にポンペイ遺跡の「ユリア・フェリックスの地所」(II. iv. 1-12: ①)を訪れた。この大邸宅は多彩な壁画や高度な工芸品の出土で著名だが、私の見学申請箇所は脇目もふらず「トイレのみ」だったので、案内してくれた遺跡監視人は不審だったに違いない。みるべきものはもっと他にあるはずなのに、と。彼としては不満だったのだろう、もう一つのトイレ見学場所「メナンドロスの邸宅」(I. x. 4)では、頼みもしないのに専用浴場と有名な銀器発見現場にわざわざ案内してくれた。さて、ユリア・フェリックスの大邸宅は、円形闘技場や訓練場の北西側の一角の、通常規模の街区 (insula) 2つ分を合わせた例外的な広さで、幹線道路「アポンダンツァ通り」沿いに

「」型に家屋が建てられ、半分以上を庭園・果樹園・菜園が占めている。ここには典型的とはいえない「台所隣接トイレ」(上図①の入口10付近の人形の箇所)と、浴場複合体の一部をなす別棟の「公共トイレ」(7の下方複数人形)がある。今回見学の狙い目は後者だったので、「台所隣接トイレ」は借用写真を提示するに留めるが、これだけ奥まると入口をカーテンで覆ってプライバシー保護が可能なので、単純な奴隷用トイレではない、と私は考えているがどうだろう。



① -1 台所：右側の壁の向こうがトイレ



①-2 路地の先の奥まったトイレ：この形式も多い

さて浴場附属共同トイレは、図面から推定するに、内径でほぼ224cm四方の、見た目にトイレと思えないかまぼこ型の半円筒ヴォールト型のこぢんまりした建物で、西側の塀沿いの狭い路地経由で入る。入口の右手と正面（南壁と東壁）に「7」字型に深い下水溝とかつて便座を支えた構造物が残っているが、便座部分はない。ヴィンドランダ新発見と同様、木製だったのだろう。床の現状は水場なのになぜか三和土状で、通常設置されている便座の足下前の浅い溝もないが（②には、それらしきものが描かれているが）、入口右手に円形のくぼみと下水溝への切れ込み、さらに逆の入口正面左手にはやや浅いが四角のくぼみと切れ込みが確認できる。そこには手洗い用の手水があった可能性がある。また小窓が、南北でアーチ構造が始まるあたりの高さ（人物の頭部付近）、東の上部の3箇所あって、自然採光をもたらしている。

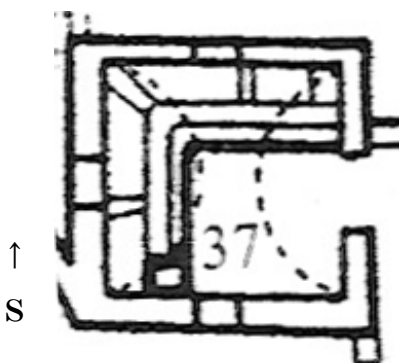


↓ N①-3 前面はプール、奥の右の建物がトイレ

↑ W 人物は、監視人（左）と池口氏（右）

このトイレは、①の建物群のうち中央の浴場複合施設の南端に位置していて、その客専用だったと思われるが、プール付近というのがミソかもしれない。スイマーの生理現象に対応し、同時にプールや浴場の排水が文字通り「流用」されていたのだろう。

このトイレを訪れたとき、私は不意打ちで妙なものを視認した。それは入口から向かって左隅に現場保存された壊れた土器だった。普通であればこれを手水とみても不思議ではないが、ここにはその痕跡らしきものが別にある。念のため監視人に用途を聞いたところ、彼はなんと小便用のアンフォラだと即答した。なるほど。こういう公共トイレで小用をどう処理していたのか、それが私の積年の疑問の一つだったのだが、思わぬ形で決着した思いだった。（別系列の小用構造については後述参照）



② トイレ平面拡大図



③ 正面東壁と南壁 下水槽と便座支持構造  
：若干のフレスコが残っている



南壁：右の出入口手前の円形のくぼみと  
下水溝への切り込みに注目（池口氏提供）



左が北壁、正面東壁：中央手前の方形の  
くぼみと切り込みに注目（池口氏提供）

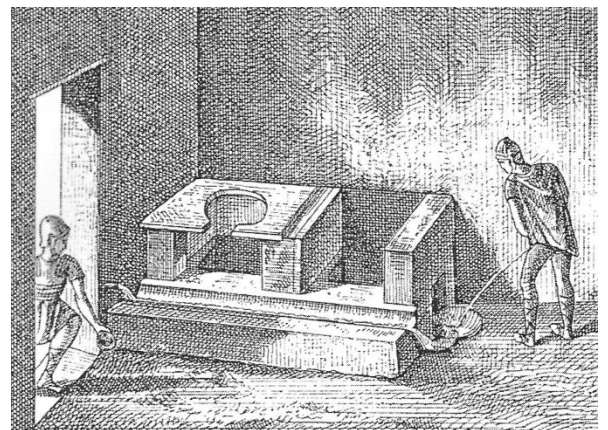


北西隅の土器片

というのも、女性と異なり、いわゆるローマ式トイレで男性が小用をするのは、実際にはそう簡単ではない。このあたり、実際の用足しの動作をしてみれば一目瞭然なのだが、どうやらだれも気づいていないようなのはどうしたことか。基本的に男性にとって放尿の正しい態勢は今も昔も立ち小便が国際標準で、座っての放尿は苦手のはずで、私はそれを海外の国際空港の男子トイレでいつも思い出すことになる。

画像収集しているうちに、これまで固定型専用小用トイレを1つ見つけているが④、少なくとも遺跡現場でみかけた記憶はない。ここでは便器が3つ描かれている。一番左は普通の便座で、真ん中は座板がない、そして立ちション用である。真ん中が立ちション用であれば右のは不要ではとも想像したのだが、これはしゃがみ込んで用を足すのが好きな人向け、と説明されている。この観点を採用するなら、小規模な家庭内トイレはもとより、おしなべて便座が全面復元されるのが通例の公共トイレにおいて、一隅にそれなしの区画があった可能性、それにたとえ右端の立ちション専用区画なしでも、真ん中でのそれも立っての使用が可能ははずで、それを前提に考え直す必要がある、と思うのだがどうだろう。

また、関連でこれはたぶん私独自の仮説なのだが、オステリア・アンティカ遺跡を彷徨しているうちに次のような構造物を見つけた。場所は「ミトラの浴場」(I. 17.2)で、南端の東側からの出入口を入ってすぐ右の、外壁に沿った床面である。進入禁止の横柵が目障りだが、床面にチルコ形状の分厚い石板が置かれ、その両端に古代ローマ時代では下水に通じる排水溝でよく使用されている萁(がく)片状の切り込みが切られ、次の内側左右に円盤状くぼみ、そして真ん中に大きめの穴が穿たれている。私はこれを、壁に向かっての男性用立ちション専用のトイレと鑑定したのだが、読者諸氏はどうお考えだろうか(真ん中の大きな穴では、他に所用の人がいない場合、しゃがんで大便も可能だろう)。この石板の地下には水が流れていたのだろうか、それとも小便専用ならアンフォラへと向かっていただけだろうか。まあ建物自体が浴場なので一気呵成に流していた可能性が大であろう。



④



全体写真

↑ N



右端拡大写真

実は同様の構造物を、20年ほど昔、南フランスのニーム Nîmes (旧名Nemausus) の、保存のいい円形闘技場で目撃した記憶がある(残念ながら、撮影したはずの写真が今回発見できなかった)。円形闘技場の一番外側の回廊の壁面に沿って、オステアと同様の床構造が、それこそ壁のカーブ沿いにずらりと並んでいたのを一種感動して眺めたことを思い出す。私はかねて、大量の人びとが集う円形劇場や闘技場でトイレが付属して設置されている例の現認が希有なことに疑問を感じてきたので、直感的にこれだ!と確信したのだが、現況でそれが残存していない遺跡では、本来設置されていたものが後世取り外されて、他に転用されてしまった、ということなのだろうか。

\*

さて、まだまだ謎の多い古代ローマのトイレであるが、この小稿を締めくくるにあたり、ローマ・トイレ最大の謎と誤解に迫りたい。それはいわゆる「尻拭き」「落とし紙」の件である。略史的に書くなら、ローマ人は最初ギリシア人同様小石や布、そして指を使用していた(その場合、最終的には水で指を洗ったはず。いやこれまでなぜか指摘されていないが、水での洗浄こそ少なくとも地中海世界では本流だった、と私は密かに確信しているのであるが)。それがいつしかなぜか「棒付き海綿」を使ってお尻を拭いていたといわれ出す。前稿で書いたように、考古学的な遺物としての出土例はこれまで皆無であるにもかかわらず、なのである。どうやらその鍵を握っているのは、唯一の文書的典拠としていつも引用されるセネカの以下の証言らしい。

たとえば最近のことですが、闘獣者訓練所のゲルマニア人の一人が、午後の公演の訓練を受けていたときに、体を休めるといってその場を出ました。監視人もなく彼が一人であることを許されるのは、これ以外にありませんでした。そこで彼は、そこにあった汚物洗浄用の海綿付きの棒 *ad emundanda obscena adhaerente spongia* をとって、それを喉に奥深く詰め込み、喉笛を詰まらして息を断ちました。(⑤)

それを、かの有名な哲学者モンテーニュがふんだんにセネカを引用した『瞑想録：エッセー』（1580年刊行）の中で、この箇所を「彼らは尻を拭くのに・・・（棒の先に結びつけられた）海綿を使った」とコメントしたため（⑥）、多くの研究者が検証もせずこれまでそれに無批判的に追従してきたためと思われる。そもそも、セネカは尻拭き用として「棒付き海綿」に言及していたわけではない。現代でも類似品を見ることができるトイレ洗浄器具と読むのが正しい理解なのだが。そしてご丁寧に、いたる所でもっともらしい復元物や絵画や解説を目にするようになった、というわけである。



⑦ イギリス・ヨークの浴場博物館展示物（林俊明氏提供）

実際に使用してみると、いや想像してみるだけでもわかりそうなものだが、排便の事後処理用としてそれはとても使えたりしたものではない。むしろ棒なしで直接海綿を使ったほうがよほど効果的なのは。もちろん、世の中には私と同様流布説に不同意の大先達もいらっしゃって、セネカの言及はトイレ掃除道具だったとか、なんと嘔吐用具だったと喝破した人たちもいた。管見の限りその劈頭の榮譽を担っている

のは、前号で紹介した20世紀初頭の辞書項目の執筆者 H. Thedenat (col. 991) であり、最近では本稿掲載のモネステイエ（④：108頁）などである。直近では、カール=ヴィルヘルム・ヴェーバーであろうか（⑧）。

ここで海綿（スポンジ）について簡単に触れておく。地中海の海底で採れた海綿の細かい網目状の海綿質繊維を利用するため、まず組織を腐敗させ、残った骨格を洗い流して整形したものが販売され、商品としてはそのきめの細かさで、ラフなボディ用ハニカム種と緻密なフェイス用シルク種に大別される、らしい。今の場合にはボディ用で十分だろう。



アテネでの海綿の店頭販売スナップ



シルク種の海綿

ここで私見を愚考するに至った経緯をお話ししよう。そのヒントとなった史料は、意外にも新約聖書だった。四福音書が大同小異ながらいずれも記載している、磔刑上での死の直前にイエスがそばにいた人びとないし兵士たちによって「酢」を飲まれた箇所（マルコ15. 36；マタイ27. 48；ルカ23. 36；ヨハネ19. 29：以下、田川健三訳に依拠）、ルカ以外では唐突に「海綿」が登場しているのだ。したがって、イエスの十字架刑を描いた絵画でも必ずといってよいほどそれは書かれている。次の絵画はカラバッジオ派の一例である。



ルカで登場する兵士たちがローマ兵とユダヤ兵のいずれかは言明されていないが、今それは横に置いておこう。私が問題にしたいのは、なぜ処刑場にいた兵士なりそばにいた人びとが「海綿」を携帯していたのか、である。そしてまた福音書記者たちがなぜ「海綿」にそれほどこだわって書いていたのか、という点にも注意を払うなら、これまでの聖書注解で見落とされてきた新解釈も可能な予感さえする。

⑨

ここでは細部の差異にあまりこだわらないで、最古の福音書とされる「マルコ福音」の叙述で話を進める。午後3時に至りイエスは大声で断末魔と覚しき叫び声をあげた(15章3節)。それを聞きとがめ、居合わせた者たちのうちある者が走り寄り、「海綿を酢で満たし、葦につけて飲ませ」た。ここでの「居合わせた者たち」とは、一般の野次馬ではなく、おそらく刑場警備担当者で、死刑囚の絶命が確認されるまで現場に待機していたのであろう。おそらく彼らはその日の職務が終わるまでの時間つぶしに、安酒を飲みながら雑談でもしていたのだらう。叫び声を聞いた彼らのうち一人が、やおら海綿を持ち出し、それに飲んでいた安酒を含ませ、たぶん気付け薬として(そうする必要があったとは思えないが)イエスの口に含ませようとしたわけである。その安酒がなぜ「酢」と表現されたかということ、まあその安酒が酢に近いしろものだったこともあろうが、それ以上に「詩編」69 [68] .22の「人はわたしに苦いものを食べさせようとし、渴くわたしに酢を飲ませようとします」の預言成就とみなす都合上、無理矢理そう書き記されたと想定するしかない。そもそもなぜ修羅場の磔刑場に、枝葉末節と思える酢や海綿がわざわざ登場する必然性があったのか。そう考える以外に説明できないであらう。

さて私の珍説の核心を述べよう。「海綿」はなぜ刑場にあったのか。「居合わせた者たち」がおそらく常時携帯していたからである。なぜ携帯していたのか。これが当時の紳士淑女のたしなみだったからに違いない。いわばかの時代の携帯ティッシュだったのだ。具体的に想像するに皮製の小袋にでも入れて持ち運んでいたのではなかろうか。事に及んだの後始末にやおら小袋から「マイ・スポンジ」を取り出して、水に浸して尻を拭く、そしてまた水に浸してプシュップシュッと洗浄して小袋に戻す……。乾燥した地中海性気候だから、臭いは瞬時に拡散して気にならなかったはずだ(水がなければ使い捨てたかも。いな最初から使い捨てだったかもしれない)。

となると、イエスの口元に差し出された海綿は刑場警備員の尻拭き用だった。そしてイエスはそれを口に含んでから絶命した。当時の人びとにとってイエスに加えられたこの最期の屈辱の意味は、海綿の登場で明々白々だったはずだ。そして現代、新約聖書を読んでこれに気づく人は皆無とっていいだろう。

ここまで想像をたくましくするならば、結局水さえあれば指を使って局部の洗浄はかなり達成されるはず、と気づかざるをえない。落とし紙のほうが後始末としては不潔だからである。この点、イタリアでは現在でも便器の横に必ずビデが併置され、ホテルではそれ用の小型のミニタオルも添えられている(これを誤ってフェイス用やバスタブでの身体洗浄に使用したり、ビデを小便器と誤解する日本人がいて、格好のイタリア小話のネタになっているが、同朋としては笑えない)。かくして、ビデの伝統の淵源は事後処理に水を使用するアラブ式トイレと同列の、地中海世界の標準パターンとっていい、と私は考えている。その伝統が、今日我が国が世界に誇るウォシュレットなりシャワートイレへと繋がっていることになる。



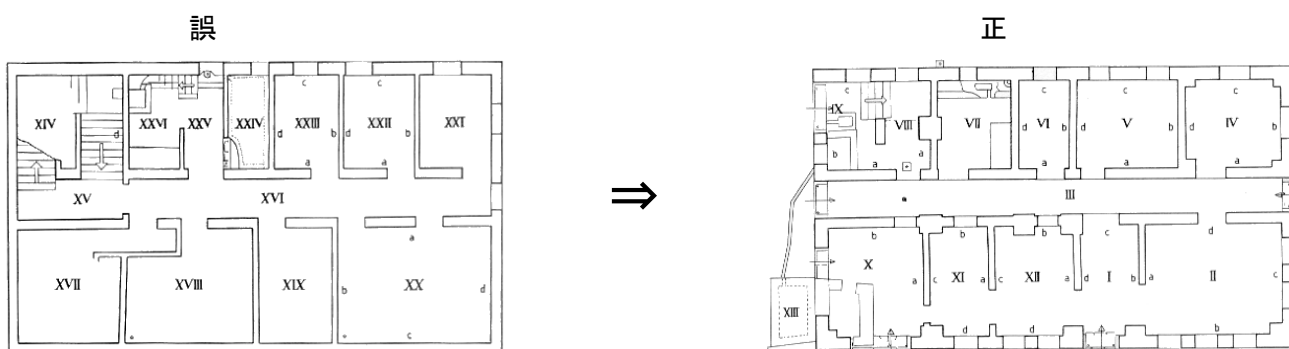
## 【引用文献・ウェブ】

- ① [http://www.pompeiiinpictures.com/pompeiiinpictures/Plans/plan\\_2\\_04.htm](http://www.pompeiiinpictures.com/pompeiiinpictures/Plans/plan_2_04.htm)
- ② Ed. by J. Dobbins and Pedar W. Foss, *The World of Pompeii*, London & New York, 2007, p. 360 ; B. Hobson, *Pompeii, Latrines and Down Pipes*, *BAR International Series* 2041, 2009, p. 131.
- ③ <http://www.pompeiiinpictures.com/pompeiiinpictures/R2/2%2004%2010%20p2.htm>
- ④ マルタン・モネステイエ (吉田春美・花輪照子訳) 『図説排泄全書』原書房, 1999, 135頁 (Martin Monestier, *Histoire et Bizareries sociales des Excréments des Origines à nos Jours*, Paris, 1997, p. 73) .
- ⑤ 茂手木元蔵訳『道德書簡集(全)』東海大学出版会, 1992, 254-5頁 (Seneca, *Epistulae morales ad Lucilium*, LXX. 20) ; cf., マールティアリス (藤井昇訳) 『エピグラムマタ』下, 慶応義塾大学言語文化研究所, 1978, 254頁 (Martialis, *Epigrammata*, XII. 48. 7-8) : (豪勢な夕食であっても、その末路は)「忌まわしい柄の先についたみじめなスポンジ、あるいはそこいらの犬と道端に据えられた小便壺が知っている」。「犬」が嘔吐物を食べに来た犬の意であれば、スポンジはトイレ用ではなく嘔吐用であることは文脈から明らか。
- ⑥ 第1巻第49章「昔の習慣について」: 河野與一校閲・原二郎訳『モンテーニュ エッセーI』『世界文學大系』筑摩書房、1958、215頁。
- ⑦ 写真に写っている説明書きには「これは“共同使用”の棒付きスポンジである。トイレに入ると、兵士はヴィネガーで満たされた壺から自分のスポンジを選んだようだ。彼は、水の流れている溝の中でそれを洗い、それを使用した！ それをまた洗ってそして壺の中に戻すのである」と書かれている。
- ⑧ 小竹澄栄訳『古代ローマ生活事典』みすず書房、2011、392頁、321頁も参照 (Karl-Wilhelm Weeber, *Alltag im Alten Rom: Das Leben in der Stadt. Ein Lexikon*, Düsseldorf, 1995) 。
- ⑨ Battistello作「十字架刑」(1610年頃) 部分図: ナポリ・国立カポディモンテ美術館所蔵。

(上智大学 文学部 教授)

## お詫び

前回の協会ニュースNo14-1 6ページの上部の左図面(⑧-1 1階平面図に記載の誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。謹んでお詫び申し上げます。(編集担当)



# なぜトイレ革命を目覚めたか

～週刊文春・トイレ探検隊がめざすもの～

トイレ探検隊隊長 坂上 遼



屋久島にて

## きっかけは、富岡製糸場横公衆トイレ

2014年8月20日も早朝からジリジリ太陽が照りつけていた。この日、大学の「夏合宿」で、ゼミの学生12人といっしょに富岡製糸場を訪れた。6月に世界遺産に登録されたばかりということで、見学者が後を絶たず、午前9時の開門まえには数百人が並ぶ光景が、連日テレビニュースを通じて報じられていた。

そこで私達は前日に高崎入りして、この日午前7時前には門前に並んだ。熱中症予防で水分補給をしすぎたせいで、尿意を催すものの我慢我慢と言いつつ聞かせていたが、前を我慢するとおかしなもので、しばらく経つと後ろの方も催してくるといふ、人間というのは困った肉体機能を持っているものである。途方に暮れている余裕もなく、学生たちが近所で聞いてくれたところでは、7～8分ほど行けばコンビニがあるという。駅まで戻ればありますよという学生もいて、「そんなことはわかるとるよ」と憚然。近所のおばあさんが、「すぐその公衆トイレを使えばいいのに」と言ってくれたことから、40メートルほど離れた「城町公衆トイレ」にたどり着くことが出来た。「なんや、灯台下暗しやなあ〜」と嘆いてドアを開けてびっくり。コンクリートの打ちっぱなしに、和式の便座がポツンと1つ。「ありゃ〜」と途方に暮れてしまった。が、そんなこと悩んでいる暇はない。とにかくシャガムことは出来た。だが用を足してからが問題である。私はその4年前、同じ夏合宿で沖縄に行ったことがある。このとき軽く捻挫した左足を庇いながら移動するうちに、腰や膝にも痛みが走るようになり、とうとう最終日は這うようにして空港まで辿り着いた。椎間板ヘルニアと診断され、結局翌年の2月までタクシーや杖を頼りに移動する日々が続いた。

それ以来、トイレの和式はご法度だったが、2011年8月のこれまたゼミ合宿で、東日本大震災の石巻ボランティアに参加した際、5日間和式の仮設トイレには泣かされ続けた。このころからトイレには他人より強い関心を持ちようになったと言える。行く先々でちょっとトイレを覗く（女性用は覗きません）習慣がついてしまった。2013年の年末からカンボジアのアンコールワットで1週間ほど過ごしたが、その時の数多くの写真の中に寺院のそばのトイレの写真が残っていた。これは洋式だが、水洗とはいえ水を流すレバーがなく、隣に据え付けられたコンクリート製のバスタブのような貯水槽の水を桶で掬って流すというものだった。無意識でトイレを撮影していたことが可笑しい。

とにかく事程左様にトイレ受難年齢に達したことを63歳にして、富岡製糸場で悟ったのである。

## トイレ探検隊発足

ここで生来の探訪記者魂に火がついた。富岡製糸場からの帰りの新幹線、東京駅、新横浜駅と、犬のように行所ゆくところでトイレを覗いては、現状をチェック。私がよく使う横浜市営地下鉄のトイレ、とりわけ新横浜駅の臭い、和式攻めにはうんざりさせられた。その後分かることだが、床を水で洗うのは雑菌の繁殖を促し、異臭となって蔓延するので、掃除をしていないわけではなさそうだ。自宅近くの菊名池公園の公衆トイレは、もはや論評できないほど悲惨で、掃除の担当者はいるのかもしれないが、和式の上に、驚くほどの汚れようで、しかもトイレットペーパーはない。こりゃ「レ・ミゼラブル（ああ無情）」じゃない、「トイレ・ミゼラブル」だ。こりゃ、いかんぞ。私の周囲だけでもこの有り様なのだから、日本中も同様のミゼラブル・トイレに満ち満ちているのではないか。

そこですぐに企画書を書き上げ、8月末までに週刊文春の新谷学編集長に送った。その内容は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに日本のトイレを大改革しようという呼びかけのもとに、悲惨な現状紹介に始まって、全国各地のトイレ行脚で予想される内容を10本書き出したものだった。この時の反応は早かった。すぐに「担当デスクと編集者を決めましたのでやりましょう」とすごく乗り気である。なかなか好いセンスをしている。

こうして9月には、小田慶郎デスク、祖父江崇編集部員と3人で打ち合わせをしたのだが、小田デスクは山崎豊子女史の担当編集者時代からの知り合いで、文学青年然としているが、意外とダジャレ好きで、なかなか愉快的な男だと分かった。一方の祖父江部員は入社1年目ながら28歳という。大学院でベルグソンの研究をしていた哲学青年だ。まるで親子コンビだが娘しかない私には、息子ができたようで新鮮で、楽しい船出となった。

## トイレにまつわる思い出

トイレにこだわるようになったのはどうしてだろうか。つらつら考えてみると、幼児期からの体験に根ざしていることに気づく。私は大分県杵築市という小さな城下町の出身で、中学生までは水洗トイレというものを見た記憶が無い。当然我が家もくみ取り式で、6人家族ともなると月に1度や2度はバキュームカーがやって来た。それ以前は、近所の農家のおじさんが木樽を荷台に積んで、馬に引かせていた。これは当然畑に撒くもので、まさに有機農法の典型だった。物心ついた頃からトイレには作り付けの机があって、父はいつもここで新聞を読んでいた。「新聞はどこ？」と探さなくて、トイレに行きさえすれば、朝日、毎日、西日本、大分合同、自由新報、社会新報、週刊民社、赤旗、聖教新聞、たまにルモンドまで見つけることが出来た。というのも、父は病弱のために大学の講義や講演がない日は終日自宅にいて、日に何度も新聞を抱えて書斎兼寝床とトイレとを往復していたからだ。

だから2人の姉は古文の文法書、英単語集、歴史年表などを常備していた。私も少年マガジンやサンデーはトイレでの愛読書だった。つまりトイレは汚い場所というよりリビングの一部だったのだ。

実際にくみ取り式なのに綺麗だった。母は始終季節の花を取り替えていて、冬から春にかけての水仙は定番だった。というのは、父に毎年「これがホントの水仙トイレ」とダジャレを言わせるのを愉しみにしていたからだ。それにしても昔のトイレには、あの独特の消臭剤というか芳香剤というか「ゴールド・ダリア」が漂っていたが、今思えばあの強烈な臭いが意外と苦にならなかった。



屋久島大淀小屋のポットトイレ

我が家のトイレは南側にあったせいで、冬はぼかぼかして机にうつ伏せになって眠り込み、当然和式だったので足がしびれて、母に担ぎだしてもらったのも好い思い出である。

高校時代に水洗トイレの使い勝手の良さを知ってから、次第にくみ取り式と縁がなくなったが、18歳の頃プーターコをしていて京都に暮らした時、転がり込んだ友人のアパートのトイレが絶望的に汚いくみ取り式だった。仕方がないので10分も離れた国鉄西大路駅までトイレットペーパーを片手にトボトボ出かけていた。ここは女性下着メーカーのワコールがあって、朝は続々女性社員が降りてくる。自意識過剰な青春時代だけにトイレットペーパーを持つ無様な姿で、すれ違うのはかなり恥ずかしかった。大学2年まで住んだ練馬区のアパートもトイレは汲み取り式だったが、ここは自分の部屋なので相当手入れをして友人たちにも好評だった。ふりかえれば私はかなりトイレが好きなのだと思う。父はよく、「美人を見てもオタオタするな。池内淳子も若尾文子もトイレに行く」と笑っていた。なぜ池内淳子かって？そりゃ父のあ

こがれの人だったからで、因みに私は若尾文子の大ファンだった。だから私がどんな美形に会ってもたじろぐことがないのは、きっと心のどこかで、「この人も・・・」と思っているからであろう。

こういう与太話を紹介したのは、佐竹明雄事務局長から「偶数ページにして下さい」と依頼があったのを受けて、ページ合わせのためなのをお断りしておく。

## トレタンがめざすもの

私の発想に大きく影響したことが幾つかあるが、そのひとつにテレビの情報番組がある。夕方の民放テレビは、ニュースもやるが回転寿司からラーメン屋、B級グルメ、大安売りのスーパーマーケット、下町のお惣菜屋さん特集と上げればきりが無いほど、情報という括りで何でもかんでもやってしまう。とにかく口から入れるものには時間を割くのがテレビである。そこで気付いたことは、「もの食う人びと」がいるなら「もの出す人びと」もありだな。それに関連して思い出したのが、『もの食う人びと』（共同通信、1994年）だった。改めて紹介するまでもないが、共同通信記者で、芥川賞作家でもある辺見庸さんの、「世界食べ歩き記」だが、普通の食べ物紀行とは全く違う貧民の食卓であり、思想の食卓がそこにはある。

こちらの狙いは「トイレの近代化」である。25億人がトイレ無しの生活を送っていることは、Unicefを通じて知っていた。「だから、和式でも、洋式でも、あるだけありがたいと思え」式の発想は断ちたかった。「それなら、世界中のトイレを変えてやろう、無いところには作ればいい」式発想である。その時浮かんだのが、「トイレ三段階論」だった。

第一段階で無から有、つまりトイレのないところには造りましょう。

第二段階は高齢化社会に対応するため和式を洋式に変えましょう。

第三段階は、洋式に留まらず、日本を代表するウォシュ・トイレ（TOTOはウォシュレット、LIXILはシャワートイレ、パナソニックはビューティ・トワレ、東芝はクリーンウォシュと各社によって名称が違うので、総称として私が作った造語である）にして快適さを求めましょうーというわけだ。

それなら全国各地、いや世界のトイレを見て回ろうということで「トイレ探検隊」を編成することにし、最初の首脳会議で、といっても3人だが、「探検隊」の結成を提案した。これには全く異論はなく、隊員を募集しようという案もスンナリ受け入れられ、隊員証も発行することになった。「トイレ探検隊」の略称を「トレタン」としたのも、仲間を増やす上で、愛称がある方が女性読者に好まれると考えたからだ。週刊文春の強さは、週刊誌業屈指の女性読者が多いことだ。さらに「キャラクターのイラストを作ろう！」となった。スヤマミズホさんが描く隊長の私も隊員1号の祖父江部員も、よく特徴をとらえたそっくりさんで大好評だ。これで一気に読者との距離が縮まった。しかも毎週、隊員の声を誌面に反映させた。この手法は、週刊文春の読者が50代、60代、70代に多いことから、「オールナイトニッポン」「セイ！ヤング」といった深夜放送のリスナーだった可能性が高いと踏んで、それなら気軽に投稿してくれると読んだからだ。この作戦は、いまのところ成功していて、この原稿を書いている7月15日現在隊員は142人を数える。職業も様々で、退職した悠々自適組から無職、主婦、サラリーマン、農業、企業経営者、タクシー運転士、警察官、弁護士、作家、大学教員（教授、准教授、講師）、学校法人理事長、参議院議員、市議会議員、デザイナー、プロ野球コミッショナー、TV局役員、ディレクター、新聞記者、編集者（文春以外も）、看護師、公務員、団体職員、中学生、大学院生、高等遊民等々。思い浮かぶ順に書いていっても枚挙に暇ない。隊員の住む地域も多岐にわたっていて、国内では北は北海道網走市から南は沖縄県那覇市まで、国外ではニューヨーク、ワシントン、カルフォルニア、ルクセンブルク、上海と広がりを見せている。外国からの報告もおいおい掲載する予定で、近くブータンにも隊員がトイレ視察に訪れる予定だ。

## トイレ探検、知床から屋久島まで

まず最初にとりかかったのは探検を前に、日本トイレ協会の高橋志保彦会長と佐竹明雄事務局長に企画の趣旨を説明し、ご指導を願った。当然といえば当然だが、徒然草の第五十二段の「すこしの事にも、先達はあらまほしきことなり」に従ったのが、実に良かった。日本のトイレ改革の流れを説明してもらい、今日のトイレ業界の位置づけや、全体状況を把握するのに最高の出会いであった。一度掴んだ「ネタ元」は、雷がなっても離さないすっぽん以上の根性を持って、その後もお二人には電話を掛けては、ご教示いただいている。

次に全国のトイレを実見して回った結果を上梓しているマリトモこと吉田知子さんにも時間を割いて頂いた。さらにトイレ博士とも言える李家正文さんの甥にあたる元フジテレビ記者の李家芳文氏にもお会いして、正文さんの在りし日の思い出を聞かせてもらった。

そして仕上げとして最後に門を叩いたのは、TOTOとLIXILの広報だった。実際に双方のショールームを見学させてもらったり、業界の歴史から現在までをじっくり教授してもらったり、大量の資料を頂戴し、「トイレの世界」の奥の深さを実感した。

さて準備は整ったとばかり、秋の日差しが穏やかな10月中旬。我々がトレタンは、東京国際空港(羽田)から探検を開始した。というのも先に述べたが、

2020年の東京オリンピックの窓口は、東京国際空港である。現在でも年間の利用客が6890万人、世界第4位の空港である。このトイレが、日本の命ウンを担っていると考えたからだ。既に週刊誌で紹介しているので、改めて述べないが、感動するほど日本一、つまりは世界一のトイレだった。最初に頂点を見てしまうと後が楽である。物指しは「東京国際空港」であり、基準を先に決めることが出来た以上、ここどこまで近づけるかが勝負と言えよう。かくして、私と隊員1号になった祖父江崇編集部員は、月の前半は全国各地のトイレ探検に明け暮れている。(7月の人事異動で、担当者は8.1号こと児玉也一隊員というベテランに代わった)この10ヶ月で北は北海道の知床半島ウトロと羅臼、網走市能取岬から。東北は青森県八甲田山、弘前城、岩手県中尊寺、仙台市長町市営バスターミナル、福島県棚倉、常陸太田市新宿町西山荘、竜神ダム、都内各地、愛知県常滑市、京都伏見稲荷神社、醍醐寺、大阪城公園、造幣局、大阪市営地下鉄、奈良県吉野山、福岡県北九州市、大任町、直方市、大分市、杵築市、鹿児島県南さつま市、屋久島まで、探検箇所は優に100を超えた。

このところトイレにまつわる話題が新聞テレビを賑わせ、トイレ大臣なる女性大臣も登場した。まさに我らトレタンが目指す「公衆・公共トイレ革命」の日は近い。ホントかな。この拙文をお読みいただいているころ、我々は利尻島、礼文島、宗谷岬、納沙布岬、波照間島、与那国島の最果てトイレを探検している頃である。(東京都市大学メディア情報学部教授・本名 小俣一平)



知床・羅臼町の公衆トイレ表示  
(ウオッシュ・トイレ)



屋久島携帯トイレブース



福岡県大任町の1億円トイレ



大阪市営地下鉄新大阪駅

## 理事会経過（2015年4月～7月）

### 第1回理事会

- 1 日時 4月6日（月） 17時40分～19時50分
- 2 場所 ㈱レンタルのニッケン BF会議室
- 3 議題 (1) 2014年度収支報告、2016年度収支予算について  
(2) 2015年度総会プログラムについて (3) 出版事業進捗状況について

### 第2回理事会

- 1 日時 5月11日（月） 17時30分～20時00分
- 2 場所 ㈱レンタルのニッケンBF会議室
- 3 議題 (1) 2015年度総会・創立30周年記念フォーラムについて (2) 出版事業について

### 第3回理事会

- 1 日時 7月10日（金） 17時30分～19時30分
- 2 場所 ㈱レンタルのニッケンBF会議室
- 3 議題 (1) 全国トイレシンポジウムについて (2) 総会・記念フォーラム総括 (3) 一般社団法人化

## 【編集後記】

本号は、「2015年度総会・30周年記念フォーラム報告」、「新理事・新企業会員紹介」、No.15-1の続きである豊田浩志上智大学教授の「古代ローマ・トイレの落とし穴その2」と盛りだくさんの内容になりました。豊田先生の研究は大変興味深く、貴重な資料になると思います。また坂上遼先生のトイレ探検隊についても改めて興味深く拝見しました。高橋会長のご尽力により鴨下一郎先生をはじめとする台湾、韓国、シンガポール等からのお祝いのメッセージを掲載できたことも、記念すべきページになりました。

さて、今年は創立30周年記念行事が続けて計画中ですが、フォーラムでの当協会30年の軌跡は大変良くまとまっており、まとめていただいた山本副会長の名文に白倉理事が年表そえ後世に残る資料になりましたことを感謝したいと思います。それを眺めながら、既に30年も活動を継続していると思うと感慨深いものがあります。

一方、今総会での若い金子新理事の誕生は、同じく若い白倉理事らと共に現代社会の動きに敏感で様々なスキルを持った若い力を結集しやすくし、彼らがもっと経験を積んで本協会のさらなる発展と充実とに繋がることを期待します。また、新法人会員の皆様には今後も継続した当協会へのご支援を賜りたいと思います。

長くなりましたが、当協会ニュースは、今まで佐竹事務局長が原稿を集め、当ニュースを編集し、高橋会長が査読・校正しておられましたが、本号より広報部会の活動の一つとして、査読・校正を実施することに致しました。佐竹事務局長には大きなご負担ではありますが、引き続き作成・編集・発行業務を継続していただきます。

今後も会員の皆様からのご要望を反映させ編集計画に生かしていきたいと思いますので、ご意見をお寄せください。今後ともよろしくお願い申し上げます。（広報・渉外部会 坂本菜子）

日本トイレ協会 〒112-0003

JAPAN TOILET ASSOCIATION 東京都文京区春日1-5-3春日タウンホーム1F～A

[URL:http://www.toilet-kyoukai.jp](http://www.toilet-kyoukai.jp) Tel/Fax 03-5884-6123

e-mail:jta-jimukyoku@toilet-kyoukai.jp